

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業		000157	市営林管理事業							
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成14年度		担当部名	農林商工部				
基本理念	41	農林水産業の振興			担当課	林業振興課				
基本方針	01	生産基盤・施設の整備により生産力を高める			新規継続区分	継続事業				
施策の大綱					実施計画区分	実施計画事業				
施策					自由区分3	棚卸し未実施				
根拠法令	なし									
構成予算事業			会計		款		項		目	
210123	市営林保育事業		01	一般会計	02	総務費	01	総務管理費	05	財産管理費
実施方法	国庫補助事業		府補助事業		市単独事業					
	直接実施									
	業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者: 福知山地方森林組合)									
	補助金 (補助先:)									
事務事業の意図	(どのような状態にしたいか) 市営林において間伐等の適期施業を行うことにより、市民共有の貴重な資産の価値の保全、向上を図るとともに自然環境保全等の公益的機能を維持、発展させる。									
対象	(誰・何を対象に) 市営林(市有林及び市行林)									
事業内容	(手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください) 福知山地方森林組合に業務を委託し、福知山市大江町北原の市有林(スギ・ヒノキ)の間伐及び枝打ち・下刈りを実施。 間伐面積 スギ・ヒノキ A = 11.30ha 市有林の間伐の委託料 2,214,000円									
関連事業	(同一目的事業等)									
コスト	A	委託料	千円	3,074	2,214	1,498	6,300			
		負担金補助及び交付金	千円	0	71	0	0			
		報酬	千円	0	0	0	0			
		給料	千円	0	0	0	0			
		職員手当等	千円	0	0	0	0			
		共済費	千円	0	0	0	0			
		災害補償費	千円	0	0	0	0			
		恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0			
		賃金	千円	0	0	0	0			
		その他	千円	800	0	0	0			
小計	千円	3,874	2,285	1,498	6,300					
B	人件費	千円	0	1,733	1,100	1,800				
総事業費(A+B)	千円	3,874	4,018	2,598	8,100					
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0				
	府支出金	千円	0	1,107	748	0				
	国・府支出金コメント									
	地方債	千円	0	0	0	0				
	その他特財	千円	0	0	0	0				
地方債・その他特財コメント										
一般財源	千円	3,874	2,911	1,850	8,100					

計画事業評価表

(2 / 2)

計画事業		000157	市営林管理事業				
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	間伐施業面積	目標	ha	4.82	11.16	11.37	
		実績			11.30	4.92	
		単位コスト	円/ha		202.212	304.472	
	出材販売量	目標	m3	0	0	0	
		実績			0	0	
		単位コスト					
		目標					
		実績					
		単位コスト					
成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
成果実績	販売収入（財産売払収入）	目標	千円	0	0	0	
		実績			0	0	
	目標						
	実績						
	目標						
	実績						

事項		担当課評価			
事業の妥当性・必要性 <small>（市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から）</small>		国においては、国産材需要の確保のため間伐材の出材促進と利用増進の施策を推進している。市においても、市民の貴重な財産の適正な管理を行うとともに、森林のもつ公益的機能維持のため、積極的に推進すべき事業である。			
事業の有効性 <small>（上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から）</small>		木材としての財産価値を維持・向上させるため、樹種、林齢等に応じた適正かつ適期の施業を行っており、有効性の高い事業である。			
事業の効率性 <small>（有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から）</small>		京都府が認定する林業事業体への作業を委託する現在の方法が最も効率的かつ効果的であるが、コスト等検討する必要がある。			
コストと成果の方向性		事業の評価（今後の事業の方向性、課題等）			
事務事業の方向性の組み合わせ		B 改善(事業の進め方等に改善が必要)			
成果の方向性	拡充	×			
	維持	×	○		×
	縮小	×		×	×
	休廃止		×	×	×
		皆減	縮小	維持	拡大
コスト投入の方向性					
		市営林は市民共有の財産であり、維持管理することは重要であるが、現在は補助を受けて実施できていないことから、補助を受けての事業実施や新たな方法を検討する必要がある。			

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000158	林業関係事務事業								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成1年度			担当部名	農林商工部			
基本理念	41	農林水産業の振興				担当課	林業振興課			
基本方針	01	生産基盤・施設の整備により生産力を高める				新規継続区分	継続事業			
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業			
施策						自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令										
構成予算事業			会計	款	項	目				
210124	林業関係事務事業	01	一般会計	06	農林業費	02	林業費	01	林業総務費	
実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業				
実施方法		直接実施								
実施方法		業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者:)								
実施方法		補助金 (補助先:)								
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)		・森林整備や有害鳥獣対策における各団体との調整や資料作成、各種手続きに要する経費であり、各事業を計画的かつ円滑に推進する。 ・権限移譲された森林法に基づく許可事務等を円滑に処理する。								
対象 (誰・何を対象に)		自治会、農区、林業事業体等								
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		直営事務経費 ・旅費(普通旅費、研修旅費) ・需用費(消耗品費、燃料費、印刷製本費、修繕料) ・役務費(通信運搬費、筆耕翻訳料、保険料) ・使用料及び賃借料(コピー機使用料、高速道路等通行料) ・負担金補助及び交付金(各種協議会会費、研修等負担金)								
関連事業 (同一目的事業等)										

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
コスト	負担金補助及び交付金	千円	678	585	643	605
	補償、補填及び賠償金	千円	274	273	273	0
	旅費	千円	97	243	114	0
	役務費	千円	223	214	221	155
	需用費	千円	319	159	275	291
	使用料及び賃借料	千円	23	24	16	0
	報酬	千円	0	0	0	0
	給料	千円	0	0	0	0
	職員手当等	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	12	187
	小計	千円	1,614	1,498	1,554	1,238
B	人件費	千円	933	933	900	1,600
総事業費(A+B)		千円	2,547	2,431	2,454	2,838
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0
	府支出金	千円	0	0	0	0
	国・府支出金コメント					
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他特財	千円	1,136	1,138	0	0
地方債・その他特財コメント						
一般財源		千円	1,411	1,293	2,454	2,838

計画事業評価表

(2 / 2)

計画事業		000158 林業関係事務事業					
事業実績と成果	活動実績	活動指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
		目標					
		実績					
	単位コスト						
	目標						
	実績						
	単位コスト						
	目標						
	実績						
	単位コスト						
成果実績	成果指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
	目標						
	実績						
	目標						
	実績						
	単位コスト						

事項		担当課評価			
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		林業行政を円滑に推進するための事務事業で、今後も必要な事務事業である。			
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		林業行政を円滑に推進するための事務経費で、類似業務をまとめており有効な事業である。			
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		他の事業を円滑に推進するための事務事業で、コスト削減の観点に事業を推進しており効率的である。			
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)			
事務事業の方向性の組み合わせ		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 林業関係の事務を推進するため今後も継続して必要な事業である。			
成果の方向性	拡充	x			
	維持	x			x
	縮小	x		x	x
	休廃止		x	x	x
皆減 縮小 維持 拡大 コスト投入の方向性					

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000160	森林整備地域活動支援推進事業								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成14年度			担当部名	農林商工部			
基本理念	41	農林水産業の振興				担当課	林業振興課			
基本方針	01	生産基盤・施設の整備により生産力を高める				新規継続区分	継続事業			
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業			
施策						自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令	なし									
構成予算事業			会計		款		項		目	
210131	森林整備地域活動支援推進事業	01	一般会計	06	農林業費	02	林業費	02	林業振興費	
実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業				
		直接実施								
		業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者:)								
		補助金 (補助先: 林業事業体、森林経営計画策定者)								
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)		森林管理の基盤となる作業道の整備、境界確定、間伐等の施業集約化を実施するため、施業団地の設定等の地域活動を支援するとともに森林整備に対する公的支援の条件ともなる森林経営計画の策定を推進する。								
対象 (誰・何を対象に)		森林所有者、林業事業体等森林経営計画を作成しようとする者								
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		林班を基本とした一定のまとまりで森林所有者の合意形成(協定参加)による森林計画を策定。 協定締結団地数 1団地、38.52ha 森林経営計画策定促進 2団地								
関連事業 (同一目的事業等)										

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
コスト	A	負担金補助及び交付金	千円	2,200	600	250	100
		需用費	千円	58	51	61	30
		役務費	千円	21	33	30	0
		報酬	千円	0	0	0	0
		給料	千円	0	0	0	0
		職員手当等	千円	0	0	0	0
		共済費	千円	0	0	0	0
		災害補償費	千円	0	0	0	0
		恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
	小計	千円	2,279	684	341	130	
	B	人件費	千円	0	533	300	1,200
	総事業費(A+B)	千円	2,279	1,217	641	1,330	
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	110	
	府支出金	千円	2,206	672	307	0	
	国・府支出金コメント						
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他特財	千円	0	0	0	0	
	地方債・その他特財コメント						
	一般財源	千円	73	545	334	1,220	

計画事業評価表

(2 / 2)

計画事業		000160 森林整備地域活動支援推進事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	協定締結団地数	目標	団体	2	3	4	15
		実績			2	1	1
		単位コスト	円/団体		342.000	341.000	130.000
	活動実績	目標					
		実績					
		単位コスト					
	成果指標名	目標	ha	100	120	100	350
		実績			38.52	216.52	97
単位コスト							
集約化積算基礎森林面積	目標	ha					
	実績						
	単位コスト						

事項		担当課評価			
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		林班を基本とした施業の集約化を進めるため、間伐等に対する森林所有者の合意形成と、共同活動による森林施業路の改良活動に対して交付金を支給する制度であり、森林保全を地域ぐるみで進めるため必要な施策である。			
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		国の交付金制度を活用した施策であり、今後の動向を見極める必要はあるが、森林整備の基本である集約化を進めるため、また、森林経営計画の樹立を誘導するためには有効な施策である。			
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		森林施業に対して国・府の補助金を受ける場合には、森林経営計画の樹立が必須条件となっており、その経営計画策定を支援することは、間伐等を推進するうえで市の財政負担や受益者負担の軽減の点でも有効である。			
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)			
事務事業の方向性の組み合わせ		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 森林経営計画策定樹立のための補助事業であり、補助率もよく有効な事業で今後も積極的に活用する。			
成果の方向性	拡充	×			
	維持	×		○	×
	縮小	×		×	×
	休廃止		×	×	×
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入の方向性			

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000161	森林適正整備推進事業								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成14年度			担当部名	農林商工部			
基本理念	41	農林水産業の振興				担当課	林業振興課			
基本方針	01	生産基盤・施設の整備により生産力を高める				新規継続区分	継続事業			
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業			
施策						自由区分3	H28棚卸し(非公開)			
根拠法令										
構成予算事業			会計		款		項		目	
210133	森林適正整備推進事業	01	一般会計	06	農林業費	02	林業費	02	林業振興費	
実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業				
実施方法		直接実施								
実施方法		業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者:)								
実施方法		補助金 (補助先: 福知山地方森林組合)								
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)		優良材生産や健全な森林育成の基本である間伐施業について、本市森林整備計画の方向である長伐期施業に対応し、京都府事業を活用し高齢級間伐を推進する。								
対象 (誰・何を対象に)		福知山地方森林組合、高齢級(46年から60年生)の民有林								
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		<p>林木の健全な成長を促進することを目的に実施する間伐に支援した。</p> <p>対象：高齢級(46年生～60年生)のスギ・ヒノキの間伐</p> <p>間伐面積 A = 39.72ha</p> <p>補助金 10,528,278円</p>								
関連事業 (同一目的事業等)										

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
コスト	負担金補助及び交付金	千円	10,073	10,528	8,177	9,999
	報酬	千円	0	0	0	0
	給料	千円	0	0	0	0
	職員手当等	千円	0	0	0	0
	共済費	千円	0	0	0	0
	A 災害補償費	千円	0	0	0	0
	恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
	賃金	千円	0	0	0	0
	報償費	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	小計	千円	10,073	10,528	8,177	9,999
B	人件費	千円	267	267	200	400
	総事業費(A+B)	千円	10,340	10,795	8,377	10,399
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0
	府支出金	千円	6,295	6,580	5,110	6,249
	国・府支出金コメント					
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他特財	千円	0	0	0	0
	地方債・その他特財コメント					
	一般財源	千円	4,045	4,215	3,267	4,150

計画事業評価表

計画事業		000161 森林適正整備推進事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	間伐実施箇所数	目標	箇所	20	20	20	20
		実績			19	17	18
		単位コスト	円/箇所		554.105	481.000	555.500
	間伐施業面積	目標	ha	38	40	50	50
		実績			39.72	32	42
		単位コスト	円/ha		265.055	255.531	238.071
		目標					
		実績					
		単位コスト					
成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
成果実績	間伐材出材量	m3	0	100	100	100	
			実績		0	0	0
	目標						
	実績						
	目標						
	実績						

事項		担当課評価			
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		公共林業施策・支援制度の基本に長伐期化があり、優良材を生産するためには高齢級であったも間伐が必要であり、健全な森林として維持するため妥当かつ必要な事業である。			
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		府の補助制度を活用した施策であり、森林整備の基本である長伐期化に対応した有効な事業である。			
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		基本かつ重要施策である長伐期施業化を推進するうえで、市の財政負担や受益者負担の軽減の点でも効率的である。			
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)			
事務事業の方向性の組み合わせ		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 高齢級の森林が増加している中で、高齢級間伐の補助事業として有効である。			
成果の方向性	拡充	×			
	維持	×		○	×
	縮小	×		×	×
	休廃止		×	×	×
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入の方向性			

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業		000162	林道施設管理事業								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成1年度		担当部名	農林商工部					
基本理念	41	農林水産業の振興			担当課	林業振興課					
基本方針	01	生産基盤・施設の整備により生産力を高める			新規継続区分	継続事業					
施策の大綱					実施計画区分	実施計画事業					
施策					自由区分3	棚卸し未実施					
根拠法令											
構成予算事業			会計	款	項	目					
210152	林道施設管理事業	01	一般会計	06	農林業費	02	林業費	02	林業振興費		
実施方法	国庫補助事業		府補助事業		市単独事業						
	直接実施										
	業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者: 福知山地方森林組合)										
	補助金 (補助先:)										
事務事業の意図	(どのような状態にしたいか) 林道は森林整備の基幹となる道路であり、それらの林道を適正に管理することで森林整備の促進が図れる。										
対象	(誰・何を対象に) 市が直接管理している林道										
事業内容	(手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください) 防衛省用地賃借事業 林道新田線の一部において借用している用地(550.39㎡)の使用料 26,600円 特殊林道等整備事業 本市が管理している林道(7路線)の路面清掃等の業務や除草業務 1,128,682円(3路線)										
関連事業	(同一目的事業等)										
コスト	A	委託料	千円	平成28年度	2,027	平成27年度	1,129	平成26年度	885	平成25年度	0
		役務費	千円	250	183	3	1,555				
		需用費	千円	0	95	0	117				
		使用料及び賃借料	千円	30	26	27	0				
		報酬	千円	0	0	0	0				
		給料	千円	0	0	0	0				
		職員手当等	千円	0	0	0	0				
		共済費	千円	0	0	0	0				
		災害補償費	千円	0	0	0	0				
		その他	千円	0	0	0	27				
	小計	千円	2,307	1,433	915	1,699					
	B	人件費	千円	667	667	300	500				
	総事業費(A+B)	千円	2,974	2,100	1,215	2,199					
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0					
	府支出金	千円	0	0	0	0					
	国・府支出金コメント										
	地方債	千円	0	0	0	0					
	その他特財	千円	0	0	0	0					
地方債・その他特財コメント											
一般財源	千円	2,974	2,100	1,215	2,199						

計画事業評価表

計画事業		000162 林道施設管理事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	除草路線数	目標	路線	4	4	4	4
		実績			0	4	0
		単位コスト	円/路線			228.750	
	路面清掃路線数	目標	路線	5	5	5	5
		実績			3	5	4
		単位コスト	円/路線		477.667	183.000	424.750
		目標					
		実績					
		単位コスト					
成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
成果実績	管理路線数	目標	路線	7	7	7	7
		実績			7	7	7
	目標						
	実績						
	目標						
	実績						

事項		担当課評価			
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		146路線ある林道のうち7路線を本市で管理しており、それらの林道は森林施業の根幹となる道路であることに加え、消防用の緊急無線をはじめとする通信設備の設置路線や観光関連の重要な路線であることから、適正に管理することが必要である。			
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		地球温暖化防止等の観点からも森林の適正な整備は重要であり、それらを実施していくための林道の管理は有効な事業である。			
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		簡易な管理については、本市所有の重機で実施しているため、コスト面で効率的である。			
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)			
事務事業の方向性の組み合わせ		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 重要な林道を管理しており、継続しての管理が必要である。			
成果の方向性	拡充	x			
	維持	x			x
	縮小	x		x	x
	休廃止		x	x	x
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入の方向性			

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000164	作業道等整備事業								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成17年度			担当部名	農林商工部			
基本理念	41	農林水産業の振興				担当課	林業振興課			
基本方針	01	生産基盤・施設の整備により生産力を高める				新規継続区分	継続事業			
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業			
施策						自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令										
構成予算事業			会計		款		項		目	
210162	作業道等整備事業	01	一般会計	06	農林業費	02	林業費	02	林業振興費	
実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業				
実施方法		直接実施								
実施方法		業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者: 福知山地方森林組合)								
実施方法		補助金 (補助先:)								
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)		森林管理、施業の基盤である作業道が大雨等で被災した場合、国補助による災害復旧事業の対象とならないため、地元の申請に基づき、市が所有する建設機械を派遣して復旧作業を行い機能を回復することにより、森林整備活動の早期再開を図る。 また、森林管理・施業の基盤である作業道について、地元の要望に基づき市が所有する建設機械を派遣して開設する。								
対象 (誰・何を対象に)		自治会、生産森林組合等が管理する作業道等								
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		作業道等復旧事業 復旧路線 23路線 需用費(機械設備修繕料・車検修繕料) 295,477円 役務費(法廷点検手数料) 160,958円 委託料(大雨等で被災した路線の復旧作業委託) 6,682,022円 作業道開設事業 開設路線 1路線(L=230m) 1,624,738円								
関連事業 (同一目的事業等)										

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
コスト	A	委託料	千円	8,750	8,307	6,386	4,542
		需用費	千円	880	295	649	325
		役務費	千円	150	161	143	146
		公課費	千円	0	7	0	0
		報酬	千円	0	0	0	0
		給料	千円	0	0	0	0
		職員手当等	千円	0	0	0	0
		共済費	千円	0	0	0	0
		災害補償費	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		小計	千円	9,780	8,770	7,178	5,013
B	人件費	千円	1,733	1,733	900	1,800	
総事業費(A+B)		千円	11,513	10,503	8,078	6,813	
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0	
	府支出金	千円	8,905	0	0	0	
	国・府支出金 コメント						
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他特財	千円	875	712	563	449	
地方債・その他特財 コメント							
一般財源		千円	1,733	9,791	7,515	6,364	

計画事業評価表

計画事業		000164 作業道等整備事業				
活動指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
活動実績	作業道等復旧事業実施路線数	目標				
		実績		23	22	19
		単位コスト	円/路線		381.304	326.273
	作用道新規開設路線数	目標	2	2	2	2
		実績		1	0	1
		単位コスト	円/路線		8770.000	
成果指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
成果実績	作業道等復旧延長	目標				
		実績	m	6190	6245	5,111
	作業道新規開設延長	目標	1000	1000	1,000	1,000
		実績	m	230	0	218
	目標					
	実績					

事項	担当課評価																																	
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>	林道・作業道は森林管理・整備の基盤であり、大雨等で被災した場合等速やかな復旧が必要であるが、作業道は国の災害復旧事業の対象とならないため、市の単独事業により実施する必要がある。 また、間伐等の施業を推進する基盤として作業道の新規開設が必要であり必要な事業である。																																	
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>	復旧の必要性を考慮した中で予算の範囲内で実施しており、地元要望に速やかに対応できる施策であり有効である。 また、森林整備への関心を高めるうえでも作業道の開設は有効である。																																	
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>	市所有の建設機械を使用して事業実施しているため、コスト面で効率的である。																																	
コストと成果の方向性	事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)																																	
事務事業の方向性の組み合わせ <table border="1"> <tr> <td rowspan="4">成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td colspan="6">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>	成果の方向性	拡充	×				維持	×		○	×	縮小	×		×	×	休廃止		×	×	×			皆減	縮小	維持	拡大	コスト投入の方向性						A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 【ハード事業 評価なし】 搬出間伐を推進するためには必要な作業道の復旧なしに森林整備の促進がないため、継続していく必要がある。
成果の方向性		拡充	×																															
		維持	×		○	×																												
		縮小	×		×	×																												
	休廃止		×	×	×																													
		皆減	縮小	維持	拡大																													
コスト投入の方向性																																		

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000165 森林組合間伐補助事業									
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成22年度			担当部名	農林商工部			
基本理念	41	農林水産業の振興				担当課	林業振興課			
基本方針	01	生産基盤・施設の整備により生産力を高める				新規継続区分	継続事業			
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業			
施策						自由区分3	H28棚卸し(非公開)			
根拠法令										
構成予算事業			会計		款		項		目	
210170	森林組合間伐補助事業	01	一般会計	06	農林業費	02	林業費	02	林業振興費	
実施方法		国庫補助事業			府補助事業		市単独事業			
		直接実施								
		業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者:)								
		補助金 (補助先: 福知山地方森林組合)								
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)		優良材生産や健全な森林育成の基本である間伐施業を推進するため、主たる事業主体である森林組合に支援することで、市民の負担軽減を図り、森林整備を促進する。 また、間伐した木材の搬出に対して支援することで一層の木材利用の推進を図る。								
対象 (誰・何を対象に)		福知山地方森林組合、森林経営計画を策定済みの森林等、間伐した木材								
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		森林環境保全直接支援事業(要件: 5ha以上の団地、10m3/ha以上搬出) 間伐面積 A = 20.55ha 補助金 2,114,747円 環境林整備事業 間伐面積 A = 131.29ha 補助金 6,652,959円 未利用間伐材利用促進対策事業 A=13.67ha 補助金 1,056,553円 間伐材出材奨励補助事業(森林組合が主体となり森林整備を実施した森林からの搬出) 搬出木材量 A = 1,124,349m3 補助金 2,698,435円(単価: 2,400円)								
関連事業 (同一目的事業等)										

コスト	A	負担金補助及び交付金	千円	25,209	12,523	21,562	23,264
		報酬	千円	0	0	0	0
		給料	千円	0	0	0	0
		職員手当等	千円	0	0	0	0
		共済費	千円	0	0	0	0
		災害補償費	千円	0	0	0	0
		恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
		賃金	千円	0	0	0	0
		報償費	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
	小計	千円	25,209	12,523	21,562	23,264	
	B	人件費	千円	533	533	300	1,000
	総事業費(A+B)	千円	25,742	13,056	21,862	24,264	
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0	
	府支出金	千円	4,200	0	10,780	0	
	国・府支出金コメント						
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他特財	千円	0	0	0	0	
	地方債・その他特財コメント						
	一般財源	千円	21,542	13,056	11,082	24,264	

計画事業評価表

計画事業		000165 森林組合間伐補助事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	間伐面積 (市補助分)	目標	ha	250	250	250	350
		実績			165.51	246.94	216.37
		単位コスト	円/ha		75.663	87.317	107.520
	間伐材搬出量 (市補助分)	目標	m3	3500	3500	3,500	5,000
		実績			1124.349	1795.237	3208.102
		単位コスト	円/m3		11.138	12.011	7.252
		目標					
		実績					
		単位コスト					
成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
森林整備施策 実績 (年間面積)	目標	ha	861	830	799	768	
	実績			439	373	462	
	目標						
	実績						
	目標						
	実績						

事項		担当課評価			
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		公共林業施策・支援制度の基本が高齢級間伐を含めた搬出間伐に移行しており、健全な森林として維持するための妥当かつ必要な事業である。			
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		国・府の補助制度と合わせた事業であり、森林整備の基本である間伐を促進するために有効な事業である。			
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		基本かつ重点施策である間伐対策を推進するうえで、市の財政負担や受益者負担等の軽減の点でも効率的である。			
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)			
事務事業の方向性の組み合わせ		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施)			
市民の負担軽減を図り、森林整備を促進するための事業で、今後も継続して事業を行い、地球温暖化防止や森林の持つ多面的機能の発揮のため重要な施策である。					
成果の方向性	拡充	x			
	維持	x		○	x
休廃止	縮小	x		x	x
	休廃止		x	x	x
コスト投入の方向性		皆減	縮小	維持	拡大

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000172 地元産木材利用促進事業									
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成22年度			担当部名	農林商工部			
基本理念	41	農林水産業の振興				担当課	林業振興課			
基本方針	01	生産基盤・施設の整備により生産力を高める				新規継続区分	継続事業			
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業			
施策						自由区分3	H28棚卸し(非公開)			
根拠法令										
構成予算事業			会計		款		項		目	
210188	丹州材活用促進事業	01	一般会計	06	農林業費	02	林業費	02	林業振興費	
実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業				
実施方法		直接実施								
実施方法		業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者:)								
実施方法		補助金 (補助先: 工務店等の対象事業者)								
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)		市内での住宅等の増改築で地元産材を利用した場合に補助金を交付し、地元産材の利用を促進する。								
対象 (誰・何を対象に)		福知山市産木材を使用し住宅等を新築・増改築する施主								
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		福知山市産木材を利用して家を建てた緑の工務店に対して、木材の使用量に応じ補助。 補助件数 6件 (内訳)新築 6件 (住宅 6件) 補助金 1,000,000円								
関連事業 (同一目的事業等)										

事業計画額	コスト		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
		A	負担金補助及び交付金	千円	1,850	1,000	1,650	2,200
			役務費	千円	0	20	0	0
			報酬	千円	0	0	0	0
			給料	千円	0	0	0	0
			職員手当等	千円	0	0	0	0
			共済費	千円	0	0	0	0
			災害補償費	千円	0	0	0	0
			恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
			賃金	千円	0	0	0	0
			その他	千円	0	0	0	14
			小計	千円	1,850	1,020	1,650	2,214
			B	人件費	千円	933	933	400
	総事業費(A+B)	千円	2,783	1,953	2,050	3,214		
財源内訳		国支出金	千円	0	0	0	0	
		府支出金	千円	1,850	0	826	0	
		国・府支出金コメント						
		地方債	千円	0	0	0	0	
		その他特財	千円	0	0	0	0	
	地方債・その他特財コメント							
	一般財源	千円	933	1,953	1,224	3,214		

計画事業評価表

計画事業		000172 地元産木材利用促進事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	補助対象件数	目標	件	9	12	13	13
		実績			6	10	12
		単位コスト	円/件		170.000	165.000	184.500
	活動実績	目標					
		実績					
		単位コスト					
	成果指標名	目標					
		実績					
		単位コスト					
成果実績	成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	地元産材使用材積	目標	m3	200	200	200	200
		実績			114	152	240
	丹州材の出荷量	目標	m3	8386	8002	7,618	7,234
		実績			6000	5300	9000
		目標					
	実績						

事項		担当課評価			
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		林業振興の具体的方策として地元産材の利用を推進する必要がある、特に優良材である丹州材を住宅用材として利用拡大するために必要な事業である。			
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		丹州材の利用を推進する施策として効果的である。			
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		利用量による補助金単価を定めているが、上限を設けており効率的である。			
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)			
事務事業の方向性の組み合わせ		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 伐期を迎えた森林が多い状況の中、搬出した木材の利用拡大が重要な方法となっており、民間住宅への地元産木材の利用拡大には有効な手段であり、継続して実施する。			
成果の方向性	拡充	x			
	維持	x			x
	縮小	x		x	x
	休廃止		x	x	x
皆減 縮小 維持 拡大 コスト投入の方向性					

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000180	治山関係事業							
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成1年度	担当部名	農林商工部				
基本理念	41	農林水産業の振興			担当課	林業振興課			
基本方針	01	生産基盤・施設の整備により生産力を高める			新規継続区分	継続事業			
施策の大綱					実施計画区分	実施計画事業			
施策					自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令									
構成予算事業			会計	款	項	目			
550312	治山流末整備事業	01	一般会計	06	農林業費	02	林業費	02	林業振興費
550319	災害に強い森づくり事業	01	一般会計	06	農林業費	02	林業費	02	林業振興費
550314	小規模治山事業	01	一般会計	06	農林業費	02	林業費	02	林業振興費
210141	林地保全事業	01	一般会計	06	農林業費	02	林業費	02	林業振興費
実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
		直接実施							
		業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者:)							
		補助金 (補助先:)							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)		台風等により保全機能が低下した森林において、森林荒廢の拡大、土砂等の流出による再度被害を防止するため治山施設を設置する。併せて、治山施設から下流水路までの流末水路を整備する。							
対象 (誰・何を対象に)		荒廢した森林等							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		<ul style="list-style-type: none"> ・災害に強い森づくり事業(28年度へ繰越) 森垣・私市 ・治山流末整備事業 <ul style="list-style-type: none"> 森垣 流末水路修繕(擁壁) 294,840円 牧 流末水路修繕(コルゲート) 97,200円 ・小規模治山事業(26繰越) <ul style="list-style-type: none"> 下荒河 土留工(重力式擁壁)L=15.0m 4,966,920円 岩井 土留工(重力式擁壁)L=20.18m 4,922,640円 報恩寺 土留工(重力式擁壁)L=15.5m 11,060,280円 ・林地保全事業 22件補助 21,088,352円 							
関連事業 (同一目的事業等)									

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
コスト	工事請負費	千円	29,200	25,450	16,912	0
	負担金補助及び交付金	千円	0	21,088	0	0
	委託料	千円	5,550	4,653	2,128	0
	需用費	千円	450	447	102	0
	役務費	千円	0	15	0	0
	報酬	千円	0	0	0	0
	給料	千円	0	0	0	0
	職員手当等	千円	0	0	0	0
	共済費	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	3	987
	小計	千円	35,200	51,653	19,145	987
	人件費	千円	6,267	6,267	900	1,500
	総事業費(A+B)	千円	41,467	57,920	20,045	2,487
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0
	府支出金	千円	34,000	0	18,600	0
	国・府支出金 コメント					
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他特財	千円	0	0	0	0
	地方債・その他特財 コメント					
	一般財源	千円	7,467	57,920	1,445	2,487

計画事業評価表

(2 / 2)

計画事業		000180	治山関係事業					
事業実績と成果	活動実績	活動指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
		治山施設の設置数(市施工)	目標	件	2	2	2	2
			実績			0	1	0
			単位コスト					
			目標					
			実績					
	単位コスト							
	成果実績	成果指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
		森林整備事業実績(年間面積)	目標	ha	861	830	799	768
			実績			439	331	482
		治山施設の設置数(府市合計)	目標	件	40	37	34	31
			実績			99	81	74
		目標						
	実績							

事項		担当課評価																																				
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		災害等による荒廃した森林の再度被害防止ためには重要な事業である。																																				
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		再度被害防止を図り、市民の安心・安全を図る観点からも有効な事業である。																																				
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		治山施設の設置は府事業が基本であるが、受託事業として市が施工する場合は全額府費で実施でき、また、小規模な治山事業は府補助事業として市が施工できるため、有効な財源の確保が確保できて財源的にも効率的である。																																				
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)																																				
事務事業の方向性の組み合わせ		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施)																																				
<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td>x</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>x</td> <td></td> <td>○</td> <td>x</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>x</td> <td></td> <td>x</td> <td>x</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td>x</td> <td>x</td> <td>x</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="4">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>		成果の方向性	拡充	x				維持	x		○	x	縮小	x		x	x	休廃止		x	x	x			皆減	縮小	維持	拡大			コスト投入の方向性				【ハード事業 評価なし】 災害等による復旧事業等であり、森林の荒廃防止や下流域への土砂流出防止のための重要な事業で継続する必要がある。			
成果の方向性	拡充		x																																			
	維持		x		○	x																																
	縮小		x		x	x																																
	休廃止		x	x	x																																	
		皆減	縮小	維持	拡大																																	
		コスト投入の方向性																																				

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000177	林業の担い手育成事業							
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成1年度	担当部名	農林商工部				
基本理念	41	農林水産業の振興			担当課	林業振興課			
基本方針	02	担い手の育成、経営の効率化等により生産力を高める			新規継続区分	継続事業			
施策の大綱					実施計画区分	実施計画事業			
施策					自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令									
構成予算事業			会計		款		項		目
210401	緑の担い手育成事業	01	一般会計	06	農林業費	02	林業費	02	林業振興費
210402	林業労働者新共済事業	01	一般会計	06	農林業費	02	林業費	02	林業振興費
実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
実施方法		直接実施							
実施方法		業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者:)							
実施方法		補助金 (補助先: 福知山地方森林組合、(財)京都府林業労働)							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)		森林管理、森林整備の主要な事業体(担い手)である森林組合の作業員を安定的に確保、雇用するための一部を助成。 森林組合が事業主として負担する社会保険料(健康保険、厚生年金)掛け金の一部を助成する。 林業労働者支援センターが運営する林業労働者新共済事業について、福知山地方森林組合の作業員が加入する共済制度の掛け金及び事務費の一部を助成する。							
対象 (誰・何を対象に)		福知山地方森林組合、(財)京都府林業労働者支援センター 森林組合作業員の社会保険料の一部							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		緑の担い手育成事業 森林組合の対象作業員16人の社会保険料掛金に対する補助 4,721,543円 林業労働者新共済事業 (財団)京都府林業労働者支援センターに対して、長期事業として福知山地方森林組合の作業員(年間就労実人数23人)に対する掛金の補助、林業退職金助成事業として福知山地方森林組合の作業員(年間就労実人数21人)に対する掛金の補助 1,505,570円							
関連事業 (同一目的事業等)									

コスト	A	負担金補助及び交付金	千円	3,198	6,227	0	0
		報酬	千円	0	0	0	0
		給料	千円	0	0	0	0
		職員手当等	千円	0	0	0	0
		共済費	千円	0	0	0	0
		災害補償費	千円	0	0	0	0
		恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
		賃金	千円	0	0	0	0
		報償費	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	8,542	9,139
小計	千円	3,198	6,227	8,542	9,139		
B	人件費	千円	800	800	400	1,000	
総事業費(A+B)		千円	3,998	7,027	8,942	10,139	
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0	
	府支出金	千円	262	3,343	5,207	5,553	
	国・府支出金コメント						
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他特財	千円	0	0	0	0	
地方債・その他特財コメント							
一般財源	千円	3,736	3,684	3,735	4,586		

計画事業評価表

計画事業		000177	林業の担い手育成事業				
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	保険料負担対象労働者数	目標	人		22	23	23
		実績			16	18	21
		単位コスト		円		389.188	474.556
	新共済事業助成対象者数	目標	人	23	26	28	28
		実績			21	23	26
		単位コスト		円		296.524	371.391
	新規雇用者数	目標	人	3			
		実績					
		単位コスト					
成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
成果実績	森林整備作業受託面積	目標	ha	600	600	600	600
		実績			396	429	433
	森林整備受託事業収入	目標	千円	188,064	187,232	193,071	191,169
		実績			135,751	154,156	189,318
		目標					
		実績					

事項		担当課評価			
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		森林整備の主たる事業体である福知山地方森林組合にとって、林業労働者の育成と安定雇用は重要課題である。雇用には社会保険加入、退職金制度等を維持しているが、保険料及び退職金制度の事業主負担は経営上の負担となっており、府の補助事業の適用を条件としており妥当である。			
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		雇用環境が厳しい社会状況にあっては、森林組合が本事業の適用、支援を受けて社会保険加入・退職金制度加入を遂行しており有効である。			
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		1事業体として加入している社会保険・退職金制度の事業主負担を軽減するものであり、府の支援策とも連動しており効率的である。			
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)			
事務事業の方向性の組み合わせ		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 林業の担い手が減少するなか、森林整備の主たる事業者である森林組合への担い手支援策は重要であり、今後も継続して支援していく。			
成果の方向性	拡充	×			
	維持	×		○	×
	縮小	×		×	×
	休廃止		×	×	×
皆減 縮小 維持 拡大		コスト投入の方向性			

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000179	緑のオーナー事業								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成7年度			担当部名	農林商工部			
基本理念	41	農林水産業の振興				担当課	林業振興課			
基本方針	02	担い手の育成、経営の効率化等により生産力を高める				新規継続区分	継続事業			
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業			
施策						自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令	分収林特別措置法									
構成予算事業			会計		款		項		目	
230305	緑のオーナー事業		01	一般会計	06	農林業費	02	林業費	02	林業振興費
実施方法			国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
直接実施										
業務委託又は指定管理			(委託先又は指定管理者 :)							
補助金			(補助先 :)							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)			市民参加による森づくりを推進するため、大江町北原の市有林10.4haを対象とした分収事業として平成6年度に公募による92名と30年間(平成6年度～平成36年度)の分収契約を締結している。							
対象 (誰・何を対象に)			大江町北原地内の市有林の分収契約者92名							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)			平成6年度から実施している緑のオーナー92人に対し、分収契約林の状況及び本市の情報誌等を送付。 情報誌 1回							
関連事業 (同一目的事業等)										

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
コスト	役務費	千円	41	6	14	10
	報酬	千円	0	0	0	0
	給料	千円	0	0	0	0
	職員手当等	千円	0	0	0	0
	共済費	千円	0	0	0	0
	災害補償費	千円	0	0	0	0
	恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
	賃金	千円	0	0	0	0
	報償費	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	42	0
小計	千円	41	6	56	10	
B	人件費	千円	267	267	500	300
総事業費(A+B)		千円	308	273	556	310
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0
	府支出金	千円	0	0	0	0
	国・府支出金 コメント					
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他特財	千円	41	6	56	10
地方債・その他特財 コメント						
一般財源	千円	267	267	500	300	

計画事業評価表

計画事業		000179 緑のオーナー事業							
活動指標名	単位	平成28年度		平成27年度		平成26年度		平成25年度	
		情報誌等配布回数	回	2	2	2	2	2	2
				1	1	1	1	1	
	円		6.000	56.000	10.000				
緑のオーナー活動実績	人	平成28年度		平成27年度		平成26年度		平成25年度	
		92	92	92	92	92	92	92	
			0.065	0.609	0.109				
成果指標名	単位	平成28年度		平成27年度		平成26年度		平成25年度	
		10.4	10.4	10.4	10.4	10.4	10.4	10.4	
保育面積	ha	平成28年度		平成27年度		平成26年度		平成25年度	
		10.4	10.4	10.4	10.4	10.4	10.4	10.4	

事項		担当課評価			
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		国産木材は需要低迷にあり、国・府の分収は80年を基本に契約期間の延長が進められているが、平成36年度の林業・木材情勢は不明であり、現在の契約期間30年の延長については、平成30年度頃の情勢を見ての判断となる。平成6年度からの30年契約で進めており必要な事業となっている。			
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		森林整備に対する一般市民（非林家）の参加と理解を促進するうえでの有効な施策である。			
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		現在は、基金を取り崩し情報誌を発送しており、効率的に事業を推進できている。			
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)			
事務事業の方向性の組み合わせ		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 平成36年まで契約期間があり、それまで継続しての事業実施が必要である。			
成果の方向性	拡充	x			
	維持	x			x
	縮小	x		x	x
	休廃止		x	x	x
皆減 縮小 維持 拡大		コスト投入の方向性			

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000167	有害鳥獣捕獲事業								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成1年度			担当部名	農林商工部			
基本理念	41	農林水産業の振興				担当課	林業振興課			
基本方針	03	有害鳥獣による被害をへらす				新規継続区分	継続事業			
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業			
施策						自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令	鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律									
構成予算事業			会計		款		項		目	
210174	有害鳥獣捕獲事業	01	一般会計	06	農林業費	02	林業費	02	林業振興費	
実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業				
		直接実施								
		業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者: 福知山市有害鳥獣実施隊)								
		補助金 (補助先: 福知山市有害鳥獣駆除隊)								
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)		シカ、イノシシ等の野生鳥獣による農作物被害を軽減するとともに、住民の不安を解消するため、「京都府特定鳥獣保護管理計画」に基づき策定した「福知山市鳥獣被害防止計画」に定める計画駆除を推進する。 本対策は、「鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律」に基づき、鳥獣の保護を図るとともに農林業被害等の防止のため、計画的な捕獲を行うことで鳥獣の適正な個体数管理を行うものである。 「福知山市鳥獣被害防止計画」に定める平成28年度の捕獲計画頭羽数 ニホンジカ 4,000頭、イノシシ 800頭 アライグマ他小動物 530頭、ニホンザル 10頭、カラス 50羽								
対象 (誰・何を対象に)		福知山市有害鳥獣捕獲実施隊に業務委託、福知山市有害鳥獣駆除隊への活動支援、農区等への支援 駆除隊は、主として「わな」、「柵・檻」による捕獲を行う。 実施隊は、駆除隊員の中から組織し、主として「銃器」による捕獲を行う。 平成28年度からは、駆除隊員で組織する「追払隊」に対する支援も予算化している。								
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		計画捕獲により捕獲された鳥獣の買上 1 福知山市有害鳥獣駆除隊による計画捕獲の実施(月2回の一斉捕獲及び広域捕獲、「わな」の設置) ・ 駆除隊員数 206人 ・ 年間活動報償費 1,175,000 円 ・ 捕獲動物買上料 72,792,300 円 ・ 個体処分費 24,224,000 円								
関連事業 (同一目的事業等)		有害鳥獣防除事業、有害鳥獣処理施設整備事業								

事業計画額	コスト	報償費	千円	平成28年度	88,917	平成27年度	106,973	平成26年度	88,607	平成25年度	0
		賃金	千円	1,215	1,211	1,213	0				
		需用費	千円	1,072	1,020	963	788				
		役務費	千円	439	578	440	485				
		負担金補助及び交付金	千円	804	113	301	836				
		旅費	千円	65	54	29	0				
		使用料及び賃借料	千円	291	6	15	0				
		報酬	千円	0	0	10	64,547				
		給料	千円	0	0	0	0				
		その他	千円	132	0	89	1,217				
	小計	千円	92,935	109,955	91,667	67,873					
	人件費	千円	0	0	6,400	6,400					
	総事業費(A+B)	千円	92,935	109,955	98,067	74,273					
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	18,763					
	府支出金	千円	10,224	15,366	13,109	0					
	国・府支出金コメント										
	地方債	千円	0	0	0	0					
	その他特財	千円	26,596	38,410	0	16,030					
	地方債・その他特財コメント										
	一般財源	千円	56,115	56,179	84,958	39,480					

計画事業評価表

計画事業		000167 有害鳥獣捕獲事業					
事業実績と成果	活動指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
	シカ・イノシシの捕獲頭数	目標	頭	4,800	4,800	4,000	4,000
		実績			6,056	4,601	3,372
		単位コスト	円				
	駆除隊・実施隊の出動延日数	目標	日	700	700	500	400
		実績			610		
		単位コスト			180.254		
		目標					
		実績					
		単位コスト					
成果指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度		
駆除隊員数	目標	人	220	220	220	200	
	実績		206	216	224	181	
農作物被害の軽減額(対前年)	目標	千円	10,000	10,000	10,000	4,000	
	実績			366	1,905	4,290	
	目標						
	実績						

事項		担当課評価	
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		有害鳥獣の捕獲と防除は、農林業の振興はもとより、市民の安心・安全確保のためにも極めて重要であり、対策を一層強化する必要がある。	
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		自然界に生息する野生鳥獣は常に広範囲を移動しており、正確な生息数の把握は困難であるが、ライトセンサス(夜間、ライトに照らされたシカ等の目が光ることで所在を確認し、頭数や性別等の調査を行うこと)の結果や京都府の生息予測頭数をもとに市の「被害減少」を図る。	
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		被害調査及びライトセンサスによる生息調査や京都府の生息予測頭数等を参考に「福知山市被害防止計画」を適宜変更し、適正な個体数管理を行う。	
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)	
事務事業の方向性の組み合わせ		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 駆除隊員の高齢化と隊員数の減少が大きな課題となっている。今後は、若年層の駆除隊員を確保していくため、京都府で実施される講習会等の情報を広くPRしていく。	
成果の方向性	拡充 × ○ × × 維持 × ○ × × 縮小 × × × × 休廃止 × × ×		
	皆減 縮小 維持 拡大 コスト投入の方向性		

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000169	有害鳥獣防除事業								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成6年度			担当部名	農林商工部			
基本理念	41	農林水産業の振興				担当課	林業振興課			
基本方針	03	有害鳥獣による被害をへらす				新規継続区分	継続事業			
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業			
施策						自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令	鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関									
構成予算事業			会計		款		項		目	
210177	有害鳥獣防除事業		01	一般会計	06	農林業費	02	林業費	02	林業振興費
実施方法			国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
直接実施										
業務委託又は指定管理			(委託先又は指定管理者 :)							
補助金			(補助先 : 福知山市有害鳥獣対策協議会による現物貸与)							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)			シカ、イノシシ等の野生鳥獣による農作物被害を軽減するとともに、住民の不安を解消するため、地元農区等による金網柵、電気柵の設置を推進する。							
対象 (誰・何を対象に)			農区等が実施する鳥獣被害防除施設の整備等を支援							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)			<p>農区等が実施する防除施設設置への支援 (電気柵、金網柵等の設置に係る経費を助成する。)</p> <p>平成23年度から、自治会・農区・農林関係団体・猟友会等で組織する「福知山市有害鳥獣対策協議会」が事業主体となり、国庫補助金の交付を受け、農区等への支援を行っている。</p> <p>平成24年度からは、同協議会が資材を一括購入し、農区等へ貸与している。</p> <p>防除施設設置事業補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大型捕獲柵(大内山田地区) 950,000 円 ・防除柵同協議会への補助金 80,305,000 円 <p><参考></p> <p>「福知山市有害鳥獣対策協議会」が実施した防除事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・侵入防止柵設置事業 88,000m 							
関連事業 (同一目的事業等)			有害鳥獣捕獲事業、有害鳥獣処理施設整備事業							

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
コスト	A	負担金補助及び交付金	千円	4,684	1,070	1,003	64,106
		委託料	千円	1,700	788	0	147
		報償費	千円	0	30	0	0
		報酬	千円	0	0	0	0
		給料	千円	0	0	0	0
		職員手当等	千円	0	0	0	0
		共済費	千円	0	0	0	0
		災害補償費	千円	0	0	0	0
		恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
	小計	千円	6,384	1,888	1,003	64,253	
	B	人件費	千円	0	4,267	5,300	7,000
	総事業費(A+B)	千円	6,384	6,155	6,303	71,253	
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	73	
	府支出金	千円	700	0	0	0	
	国・府支出金コメント						
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他特財	千円	950	0	0	60,521	
	地方債・その他特財コメント						
	一般財源	千円	4,734	6,155	6,303	10,659	

計画事業評価表

計画事業		000169 有害鳥獣防除事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	防除柵の設置延長	目標	m	28,000	28,000	200,000	180,000
		実績			88,000	235,135	180,677
		単位コスト	円				
	バッファゾーン設置個所数	目標	箇所	2	1	1	1
		実績		1	1	1	1
		単位コスト		6384.000	1888.000	1003.000	64253.000
		目標					
		実績					
		単位コスト					
成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
成果実績	防除柵の設置累計延長	目標		1,259,397	1,231,397	1,031,397	
		実績		1,401,972	1,313,972	1,078,837	
	農作物被害の軽減額(対前年)	目標	千円		5,000	5,000	3,000
		実績			366	1,905	4,290
	目標						
	実績						

事項		担当課評価			
担当課評価	事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>	狩猟免許所持者の高齢化や駆除活動における事故防止等の観点から駆除隊に依存した捕獲、駆除には限界があり、地域・農家の自己防衛策として電気柵・金網柵等の設置を推進する必要がある。			
	事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>	地域・農家がとりうる現実的手段としては防除柵の設置しかない。有効性は地理的な条件や野生鳥獣の生態にも関わるため、評価は難しい。			
	事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>	地域・農家がとりうる現実的手段としては防除柵の設置しかない。コストや効果は地理的な条件や野生鳥獣の生態にも関わるため、評価は難しい。			
	コストと成果の方向性	事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)			
事務事業の方向性の組み合わせ		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 国府の方針としては、防除から捕獲へ方向転換され、防除対策に係る予算も大きく減額されたが、本市においては、まだまだ防除対策が必要な箇所が残っており、限られた予算の中ではあるが、より有効な資材の運用を行っていく。			
成果の方向性	拡充 × × × × 維持 × × ○ × 縮小 × × × × 休廃止 × × ×				
	皆減 縮小 維持 拡大				
	コスト投入の方向性				

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000171	有害鳥獣処理施設整備・管理事業							
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成25年度	担当部名	農林商工部				
基本理念	41	農林水産業の振興			担当課	林業振興課			
基本方針	03	有害鳥獣による被害をへらす			新規継続区分	継続事業			
施策の大綱					実施計画区分	実施計画事業			
施策					自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令	鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する								
構成予算事業		会計		款		項		目	
210181	有害鳥獣処理施設整備事業	01	一般会計	06	農林業費	02	林業費	02	林業振興費
210153	中丹地域有害鳥獣処理施設管理事業	01	一般会計	06	農林業費	02	林業費	02	林業振興費
実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
		直接実施							
		業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者:)							
		補助金 (補助先:)							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)		計画的な有害鳥獣捕獲を推進するにあたり、喫緊の課題であったシカ、イノシシ等の個体の適正な処分を図るために整備した「中丹地域有害鳥獣処理施設」の適正な管理運営を行う。							
対象 (誰・何を対象に)		福知山市有害鳥獣駆除隊、農区							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		中丹地域有害鳥獣処理施設整備事業 委託料 18,679 千円(指定管理委託) 需用費 20,132 千円(燃料費、光熱費他)							
関連事業 (同一目的事業等)		有害鳥獣捕獲事業、有害鳥獣防除事業							

コスト	A	工事請負費	千円	平成28年度	0	平成27年度	250,307	平成26年度	135,600	平成25年度	0
		委託料	千円	18,679	31,958	4,750	303				
		備品購入費	千円	0	23,285	1,261	0				
		需用費	千円	20,132	11,582	0	0				
		役務費	千円	95	483	0	0				
		負担金補助及び交付金	千円	0	337	0	0				
		公課費	千円	0	22	0	0				
		使用料及び賃借料	千円	0	21	0	0				
		報酬	千円	0	0	0	0				
		その他	千円	0	0	8,113	110				
	小計	千円	38,906	317,995	149,724	413					
	B	人件費	千円	5,333	5,333	5,400	2,700				
	総事業費(A+B)	千円	44,239	323,328	155,124	3,113					
財源内訳	国支出金	千円	11,039	0	0	0					
	府支出金	千円	0	107,853	0	0					
	国・府支出金コメント	(府) 管理事業分4,119 整備事業分103,734									
	地方債	千円	0	55,700	0	0					
	その他特財	千円	16,828	14,192	0	0					
	地方債・その他特財コメント	(地方債) 管理事業分-過疎債3,900 整備事業分-合併特例債51,800 (その他) 他市負担金									
	一般財源	千円	16,372	145,583	155,124	3,113					

計画事業評価表

計画事業		000171 有害鳥獣処理施設整備・管理事業				
活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
事業進捗率	目標	%		100	100	10
	実績			100	100	10
	単位コスト			530.500	1497.240	41.300
焼却処分頭数	目標	頭		1,000		
	実績			739		
	単位コスト			71.786		
	目標					
	実績					
	単位コスト					
成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
埋設処分頭数	目標	頭		5,000		
	実績			5,567		
	目標					
	実績					
	目標					
	実績					

事項	担当課評価																																	
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>	有害鳥獣の捕獲と適正な処分は農林業の振興はもとより、市民の安心・安全確保のためにも極めて重要であり、対策を一層強化する必要がある。																																	
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>	有害鳥獣捕獲の推進への課題である捕獲個体の適正処分を図り、従来の埋設処分に代えて駆除隊員の負担軽減を図れる。																																	
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>	捕獲個体を処理施設で適正に処分することにより、有害鳥獣捕獲を推進し、被害の軽減を図る。																																	
コストと成果の方向性	事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)																																	
事務事業の方向性の組み合わせ <table border="1"> <tr> <td rowspan="4">成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td colspan="6">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>	成果の方向性	拡充	×				維持	×		○	×	縮小	×		×	×	休廃止		×	×	×			皆減	縮小	維持	拡大	コスト投入の方向性						A 現状維持(現在の事業規模により継続実施)
成果の方向性		拡充	×																															
		維持	×		○	×																												
		縮小	×		×	×																												
	休廃止		×	×	×																													
		皆減	縮小	維持	拡大																													
コスト投入の方向性																																		

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業		000175 特用林産振興事業								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成18年度		担当部名	農林商工部				
基本理念	41	農林水産業の振興			担当課	林業振興課				
基本方針	04	1次産品のブランド化・6次産業化等により販売力を高め			新規継続区分	継続事業				
施策の大綱					実施計画区分	実施計画事業				
施策					自由区分3	棚卸し未実施				
根拠法令										
構成予算事業			会計		款		項		目	
210228	特用林産振興事業		01	一般会計	06	農林業費	02	林業費	02	林業振興費
実施方法	国庫補助事業		府補助事業		市単独事業					
	直接実施									
	業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者:)									
	補助金 (補助先: 個人など)									
事務事業の意図	(どのような状態にしたいか) 本市の林産物である栗、松茸、漆等の生産振興を支援し、丹波ブランド産地としての維持、振興を図る。									
対象	(誰・何を対象に) 丹波くり・丹波漆・丹波まつたけを新植・改植する個人									
事業内容	(手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください) 本市の林産物である丹波くりの新植・改植に対して補助。									
関連事業	(同一目的事業等)									
コスト	A	報酬	千円	0	0	0	0			
		給料	千円	0	0	0	0			
		職員手当等	千円	0	0	0	0			
		共済費	千円	0	0	0	0			
		災害補償費	千円	0	0	0	0			
		恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0			
		賃金	千円	0	0	0	0			
		報償費	千円	0	0	0	0			
		旅費	千円	0	0	0	0			
		その他	千円	0	0	133	250			
	小計	千円	0	0	133	250				
	B	人件費	千円	0	0	300	300			
	総事業費(A+B)	千円	0	0	433	550				
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0				
	府支出金	千円	0	0	0	0				
	国・府支出金コメント									
	地方債	千円	0	0	0	0				
	その他特財	千円	0	0	0	0				
地方債・その他特財コメント										
一般財源	千円	0	0	433	550					

計画事業評価表

(2 / 2)

計画事業		000175 特用林産振興事業							
活動指標名	単位	平成28年度		平成27年度		平成26年度		平成25年度	
		丹波栗新植面積	目標	40	20	20	20	20	20
	実績	a		0	46	50			
	単位コスト				2.891	5.000			
丹波漆新植面積	目標		30	30	20				
	実績	a	0	0	0				
	単位コスト								
	目標								
	実績								
	単位コスト								
成果指標名		平成28年度		平成27年度		平成26年度		平成25年度	
丹波栗生産面積	目標	120	120	120	120	120	120	120	
	実績	ha	120	120	120	120	120	120	
丹波漆生産面積	目標	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	
	実績	ha	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	
	目標								
	実績								

事項		担当課評価	
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		当地域で生産される栗、松茸は「丹波ブランド」の特用林産物として市場の評価は高く、丹波福知山産の地域特産物として生産を振興する必要があるため、それらの新植や改植を進めるための支援は必要である。	
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		栗・松茸・漆は「丹波ブランド」としての評価が高いことから、丹波福知山を発信する手段として有効である。	
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		事業費の1/2としてとしており、かつ面積あたりの上限単価を設定していることから効率的である。	
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)	
事務事業の方向性の組み合わせ		C 拡充(人員や予算規模の拡充が必要) 本市の丹波ブランドである丹波くり、丹波漆などの拡大のため施策で、京都府や市町、JA、生産者でつくる「京都府丹波くり振興戦略会議」として生産拡大を目指していることなどから継続して取り組む必要がある。	
成果の方向性	拡充 × ○ 維持 × × 縮小 × × 休廃止 × ×		
	皆減 縮小 維持 拡大 コスト投入の方向性		

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	001014 森の京都推進事業																										
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度 平成27年度																									
基本理念	41 農林水産業の振興	担当部名 農林商工部																									
基本方針	07 その他	担当課 林業振興課																									
施策の大綱		新規継続区分 新規事業																									
施策		実施計画区分 実施計画事業																									
根拠法令		自由区分3 棚卸し未実施																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th>構成予算事業</th> <th>会計</th> <th>款</th> <th>項</th> <th>目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>210191 「森の京都」福知山プロローグセレモニー事</td> <td>01 一般会計</td> <td>06 農林業費</td> <td>02 林業費</td> <td>02 林業振興費</td> </tr> <tr> <td>210193 「森の京都」福知山PR事業</td> <td>01 一般会計</td> <td>06 農林業費</td> <td>02 林業費</td> <td>02 林業振興費</td> </tr> <tr> <td>210175 「森の京都」児童絵画展示事業(地創加速)</td> <td>01 一般会計</td> <td>06 農林業費</td> <td>02 林業費</td> <td>02 林業振興費</td> </tr> <tr> <td>210176 「森の京都」全国育樹祭記念事業(地創加速)</td> <td>01 一般会計</td> <td>06 農林業費</td> <td>02 林業費</td> <td>02 林業振興費</td> </tr> </tbody> </table>			構成予算事業	会計	款	項	目	210191 「森の京都」福知山プロローグセレモニー事	01 一般会計	06 農林業費	02 林業費	02 林業振興費	210193 「森の京都」福知山PR事業	01 一般会計	06 農林業費	02 林業費	02 林業振興費	210175 「森の京都」児童絵画展示事業(地創加速)	01 一般会計	06 農林業費	02 林業費	02 林業振興費	210176 「森の京都」全国育樹祭記念事業(地創加速)	01 一般会計	06 農林業費	02 林業費	02 林業振興費
構成予算事業	会計	款	項	目																							
210191 「森の京都」福知山プロローグセレモニー事	01 一般会計	06 農林業費	02 林業費	02 林業振興費																							
210193 「森の京都」福知山PR事業	01 一般会計	06 農林業費	02 林業費	02 林業振興費																							
210175 「森の京都」児童絵画展示事業(地創加速)	01 一般会計	06 農林業費	02 林業費	02 林業振興費																							
210176 「森の京都」全国育樹祭記念事業(地創加速)	01 一般会計	06 農林業費	02 林業費	02 林業振興費																							
実施方法	国庫補助事業 府補助事業 市単独事業																										
	直接実施																										
	業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者:)																										
	補助金 (補助先:)																										
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)	京都府と関係6市町で実施している「森の京都」で、平成28年度を森の京都のターゲットイヤーとして森の京都博を開催し、体験などを通じて多くの人を呼び込み地域の良さを知っていただくきっかけ作りを行う。																										
対象 (誰・何を対象に)	「森の京都 福知山」及び全国育樹祭関連事業																										
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)	「森の京都 福知山」の始まりとしてのプロローグセレモニーを京都府とともに実施 チラシ印刷 264,600円 「森の京都 福知山」のPR 幟作成、公用車ラッピング、漆塗り看板購入 1,680,424円																										
関連事業 (同一目的事業等)																											

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
コスト	委託料	千円	0	1,014	0	0
	需用費	千円	0	480	0	0
	備品購入費	千円	0	451	0	0
	報酬	千円	0	0	0	0
	給料	千円	0	0	0	0
	職員手当等	千円	0	0	0	0
	共済費	千円	0	0	0	0
	災害補償費	千円	0	0	0	0
	恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	小計	千円	0	1,945	0	0
	B 人件費	千円	0	10,667	0	0
	総事業費(A+B)	千円	0	12,612	0	0
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0
	府支出金	千円	0	598	0	0
	国・府支出金 コメント					
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他特財 地方債・その他特財 コメント	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	0	12,014	0	0

計画事業評価表

(2 / 2)

計画事業		森の京都推進事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	活動実績	目標					
		実績					
		単位コスト					
	活動実績	目標					
		実績					
		単位コスト					
	活動実績	目標					
		実績					
		単位コスト					
成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
成果実績	目標						
	実績						
	目標						
	実績						
	目標						
	実績						

事項		担当課評価			
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		森の京都エリアに誘客するきっかけとなる事業で妥当である。			
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		京都府及び関係6市町で協力して実施しており、有効に実施できている。			
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		京都府及び関係6市町で負担しあう形で実施しており、効率的である。			
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)			
事務事業の方向性の組み合わせ		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 京都府や関係6市町で「森の京都」を推進しており、本市としても「森の京都 福知山」マスタープランに掲げており、次年度も継続が必要である。			
成果の方向性	拡充	×			
	維持	×		○	×
	縮小	×		×	×
	休廃止		×	×	×
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入の方向性			